



次代へ歩む  
新小鹿野町の創造！

笠原 義行 議員

防災行政無線について

質 12月定例会にて、防災

行政無線の改善策、及びSNS等の活用を前向きに検討するとお答えになったと思いますが、進捗状況についてお伺いいたします。

答 秩父市が現在導入を進めている、ポケベル電波を使用した情報伝達システム等、その他の方法についても検討を進めた結果、通常のデジタル防災行政無線を整備した場合と比較し、半額程度で整備できると考えております。

SNSの活用は、防災情報やその他の情報を発信することも有効だと考えております。近隣市町村を参考にしながら、早急に運用が始められるよう準備を進めてまいります。

行財政の健全化について

質 12月定例会にて、経費

削減、職員の意識改革を実施していくとお答えになったと思いますが、具体的にどのよう指導をされているのか、またその効果についてお伺いいたします。

答 事務事業評価では、選択と集中により「最小の経費で最大の効果を上げる」ことを目指し、「成果を重視した町政の推進」「限られた財源及び人材の効果的かつ効率的な活用」「町民に対する説明責任の履行」「職員の意識改革の推進」を柱に取り組んでおります。

引き続き、事務事業評価を積極的に推進することにより、財源を生み出し、活力ある小鹿野町の創生を図ってまいります。

各種会議等のペーパーレス化について

質 今までペーパーレス会議について検討をしたことがありませんか。

答 検討した経緯はございません。今後、IT技術の

活用により紙の減量化を図ることは、環境保護という視点からも有効であると思っております。情報担当の総合政策課と費用対効果等を考慮しつつ検討してまいりますと存じます。



幼保一元化と  
幼児教育について

齋藤 維 議員

質 町立幼稚園、町立保育所の幼保一元化について、今後の進め方とタイムスケジュール、どのような形を目指していくのかお伺いします。

答 幼児にとつてどのような教育、保育環境が望ましいのかを念頭に置き、課題整理にスピード感を持って取り組み、平成30年度には明確な方向性が示せるようにしたいと思っております。

質 幼稚園と保育所、役割の違う施設を1つにしていく事は様々な問題が伴います。この難しい話を

進めていく上で大切にしたいところは、行財政の効率化の視点ではなく、子どもの権利を一番に考えて保障していくこと、子どもの立場に立つてこの話を進めてい

ただきたいと思いがすが、いかがですかお伺いします。

質 新しい幼稚園指導要領や保育指針の方向性や内

容が共通化されてきたので、どの施設でも同じように幼児教育が受けられるようになるので、施設を1つにすることでなく、幼児教育の内容が大切なのではないかと、いかがですかお伺いします。

答 幼児教育は重要、一方的に幼保一元化ありきではなく、検討、研究をしてみても基本指針を作るまで、議論を深めたい。

質 子ども達に力を備える為には幼児教育は重要で、今この機会に当町の幼児教育の基本理念をしっかりと固めてから幼保一元化を進めていく事が大切だと思いがすが、いかがですかお伺いします。

答 今までに町として幼児保育の指針、方向性を示してきた訳ではないので、今後の検討の中で改めて構築して、理解をいた





**埋め立て地、土砂崩落災害の  
復旧、被災者補償を早急に!!**

出浦 正夫 議員

**質** 2017年10月23日に長若地内で発生した土砂崩落について町はどのように対応してきたか伺います。

**答** 災害発生から4カ月が経過しましたが、秩父環境管理事務所・秩父県土整備事務所と連携を図りながら災害現場が早急に復旧できるように対応してきたところです。

**質** 本年2月2日、秩父環境管理事務所・秩父県土整備事務所と小鹿野町の土砂崩落問題に関する調整会議が開催されました。その際、秩父環境管理事務所は、県の完了検査後



に県の埋め立て規準を越えて埋め立てられた土砂は、業者によれば「法面補強」の為とのことだった旨の説明がありました。町長は、この説明をどのように受けとめていますか。

**答** 県の完了検査後に「法面補強」工事として土砂が急角度に埋め立てられた結果、土砂崩落したものと考えます。埼玉県には見過ごした責任があると思っています。

**質** 私も同じ考えです。県知事に対して、県の責任、災害復旧、土砂の撤去、被災者への補償等求める必要があると考えますが町長の考えを伺います。

**答** 災害発生後、時間もかかっているし責任も不明確なので、要請書の提出や直接面会するなどの方法で県知事への対応をしていきたいと考えています。

況が続いています。一刻も早く被災者への補償・支援ができるよう町としても努力するべきと思いますがいかがですか。

**質** 被災者の中には4ヶ月以上にわたり仕事ができない状況の方がいます。被害農地はそのままの状況が続いています。一刻も早く被災者への補償・支援ができるよう町としても努力するべきと思いますがいかがですか。

**答** 町民が被害を受けているわけですから、引き続き業者に対して誠実な対応を求めていきます。

**議会全員協議会**

○1月29日

国保広域化に伴う国民健康保険の税率改正について

第7期総合保健福祉計画の計画期間(平成30年度～平成32年度)における保険料について

小鹿野町地域防災計画の修正について

○2月14日

小鹿野町役場庁舎整備について

平成30年度水道事業出資債について

国保広域化に伴う国民健康保険の税率改正について

小鹿野町過疎地域自立促進計画について

○2月27日

平成30年度水道事業出資債について

○3月13日

平成30年度当初予算について



1月29日議会全員協議会の様子